

理論と実験の連携によるグライコ バイオロジーの新展開

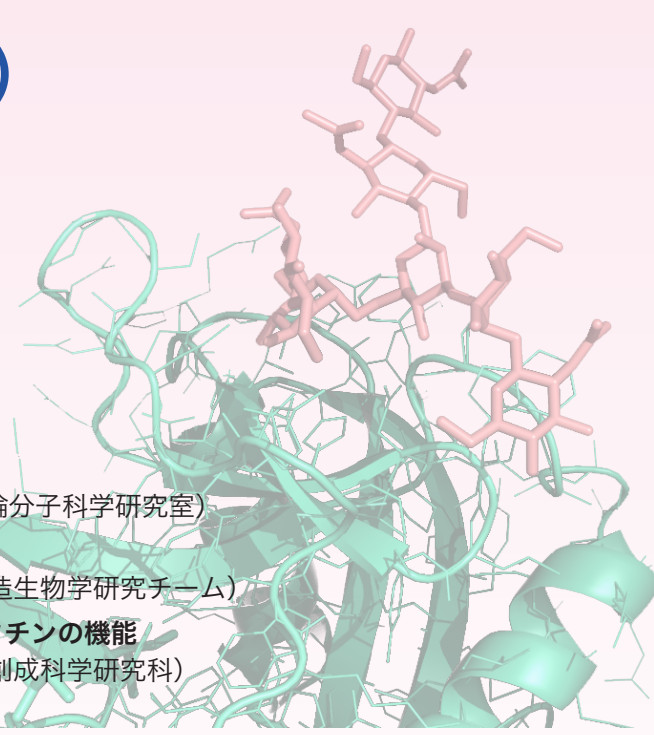
糖鎖は、核酸・タンパク質とならぶ第3の生命鎖として、免疫反応やシグナル伝達・タンパク質の品質管理など多くの細胞機能と関わっている。NMR や計算化学手法の進歩に伴い、従来捉えることが困難であった糖鎖の立体構造ダイナミクスが明らかになりつつある。本シンポジウムでは、最先端で活躍される理論・実験研究者を講師としてお招きして、理論と実験の連携による新たな展開を討議する。

2013 年 3 月 12 日 (火)

13:00 ~ 17:40

理化学研究所 和光研究所
鈴木梅太郎ホール

プログラム (言語：英語)



13:00 ~	はじめに 杉田 有治 (理化学研究所・杉田理論分子科学研究室)
13:05 ~ 13:30	糖鎖構造生物学概観 山口 芳樹 (理化学研究所・糖鎖構造生物科学研究チーム)
13:30 ~ 14:10	タンパク質品質管理におけるマレクチンの機能 山本 一夫 (東京大学大学院新領域創成科学研究科)
~ 休憩 ~	
14:30 ~ 15:10	Toward Glycan Structure Modeling and Simulation Wonpil Im (Center for Bioinformatics, The University of Kansas)
15:10 ~ 15:40	レプリカ交換分子動力学計算による糖鎖立体構造予測 李 秀栄 (理化学研究所・杉田理論分子科学研究室)
15:40 ~ 16:10	糖鎖プロファイリング解析支援のツール開発 木下 聖子 (創価大学工学部生命情報工学科)
~ 休憩 ~	
16:30 ~ 17:00	糖鎖修飾はA β 産生を調節するのか？ 北爪 しのぶ (理化学研究所・疾患糖鎖研究チーム)
17:00 ~ 17:30	動的ラフト科学へ一歩前進 — 生細胞膜の1分子イメージングに向けた ガングリオシドプローブの開発 安藤 弘宗 (岐阜大学応用生物科学部・京都大学 iCeMS)
17:30 ~ 17:40	おわりに 山口 芳樹 (理化学研究所・糖鎖構造生物科学研究チーム)
18:00 ~	懇親会 (理研内広沢クラブ)

(*) 参加費：無料、参加事前登録：必要 (当日参加も可)、懇親会費：3000 円

主催：理化学研究所 糖鎖構造生物科学研究チーム・杉田理論分子科学研究室

参加登録・その他の問い合わせ (担当 李)：

Tel: 048-462-1458 E-mail: suyongre@riken.jp